

平成30年度 みかんのプール 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			既定の広さは確保しており、他に物の配置などなるべく圧迫感の無い様に心掛けています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			既定の職員より多く配置できるようにシフトの調整を心掛けている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			ベビーゲージもある為完全なフラットになっていない部分もある為、引っ掛かりや不自由のない様にしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	○			児童の退所後、職員で振り返る時間を設けている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意向の中から行える事から順に改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	HPでの開示の仕方の検討を行っている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者機関とは繋がる様にはしたが、評価改善に繋がっていないからで評価改善が行えるように繋げていく事が課題。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修委員を立ち上げ、研修をおこなっている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか				保護者と児童のニーズを踏まえ、客観的に必要と思われる事で制作するようにしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートや個別支援計画等、共通なものを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム案が出て来たのち、各職員から意見をだし、その後6か月の長期的なスパンで繰り返し学習出来る様に作成をおこなっている。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			連日で利用の児童も居るため、また週1回の内容が被らない様に日替わりで活動が行えるように工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別に必要な課題に取り組み、休日、長期休暇等には時間が長いから出来るプログラムを考え行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別、集団等児童のレベル、状態に合わせて行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			申し送り、ミーティングの時間を作って行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			パート等時間に制約があり、出来ない人もいるが基本的に毎日おこなっているが送迎後におこなっている。ノートに共有事項のそれぞれ各自休みの日の分等確認している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を残すようにしている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			施設で行っている事成功して事等家庭にフィードバックするようにおこなっている。

関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本施設長が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて学校と連絡して、必要な調整等を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れを行っていない為、必要に応じて取って行く予定、服薬は処方箋に準じて行う事成っている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			訪問、見学に行くなど、様子等の情報交換をおこなっている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		デイサービス卒業、年齢児童はいない為行っていないが、障害福祉サービス事業所からの依頼があれば行っている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修予定を立て行っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在行っておらず、今後どう関わりが出来るか検討していく	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			グループとして参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日常でなるべく話し伝える事を心掛けている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者様と児童の事の話を行っていく事も有るがトレーニングの機会としては設けられてはいない。今後の課題	
	保護者への説明責任	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に言い、その他随時必要な時に行っている。
		31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			話しに耳を傾け、必要に応じて情報提供もしている。
		32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年保護者会を行い、その後交流の時間も設けている。
		33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その都度、適切に対応を行っている。
		34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		月の予定表やイベントごとの予定を紙資料にて作っている。
		35 個人情報に十分注意しているか	○			ファイル別に保管をして、職員間でも外で情報を話さない様に伝えている。
		36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			その方に合わせ、コミュニケーションの取れるやり方を工夫し、合わなければやり方の工夫を行っている。
	非常時等の対応	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		大家さんなど限られた人とは交流もあり、お祭りなど開催しているが、保護者様を中心に地域住民に不特定に開かれてはいない。
		38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルをつくり職員間で共有している。また、保護者にも随時必要な情報を書面にして配布している。
		39 非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定められた避難訓練を行い、児童と共に避難場所までの避難訓練も行っている。
		40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員の研修の機会を作るようにして伝えている。
		41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			拘束が必要な時には放課後等デイサービス計画に記載するようにしている。
		42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事前時アレルギーについて保護者様から聞き取り注意点を確認している。
		43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成、ファイリングを行っている。